

別紙1 (第4条関係) 茨城大学大学院理工学研究科工学分野別評価区分表 (ルーブリック)

	評価要素	評価指標・資料	極めて優れている/3 (最大)	優れている/2	標準的である/1	課題がある/0(ミニマム・リクワイアメント未達成)	加点対象 ※評価者による加点：原則+1例)「1」→「2」、「2」→「3」
教育	授業実施と点検	授業担当本数 ・職位毎に機械判定のための評価区分を定める。 授業アンケートを踏まえた授業点検実施科目数 ・授業の実施を業務上求められていない教員にあっては、本項目の評価要素の評価は行わない。	(手動判定【AND】) ・学部・研究科や教学イノベーション機構が求める授業について標準を相当上回る本数を担当した。 ・授業アンケート、授業点検(改善)を実施した。	(機械判定【AND】) ・学部・研究科や教学イノベーション機構が求める授業について標準を上回る本数を担当した。 ・授業アンケート、授業点検(改善)を実施した。  教 授： 8.18本以上(上位10%) 准教授： 6.50本以上(上位20%) 講 師： 6.20本以上(上位15%) 助 教： 5.50本以上(上位20%)	(機械判定【AND】) ・学部・研究科や教学イノベーション機構が求める授業について標準的な本数を担当した。 ・授業アンケート、授業点検(改善)を実施した。  教 授： 8.17本～1本 准教授： 6.49本～1本 講 師： 6.19本～1本 助 教： 5.49本～1本	(機械判定【OR】) ・所属部局や教学イノベーション機構において定められた最低限の授業を担当しなかった。 ・授業アンケート、授業点検(改善)を実施しなかった。 ・定められた期日までに成績を提出しなかった。	・授業改善の取組の結果、授業が他の教員の模範になるなど大学の教育力向上に貢献した。 【評価指標・資料】 授業改善・表彰等の実績
	学生指導・支援	指導学生数(学部生、大学院生) ・職位毎に機械判定のための評価区分を定める。 ・研究室の主宰を業務上求められていない教員にあっては、本項目の評価要素の評価は行わない。	(手動判定) ・学科等でも相当多数の学士、修士、博士前期・後期課程の学生を担当し、学位授与、諸資格取得及び学術等の分野で顕著な成果の発信に導くなど、学生指導に特筆すべき多大な貢献した。	(機械判定) ・学科等で相当多数の学士、修士、博士前期・後期課程の学生を担当し、学位授与及び諸資格取得に導くなど、学生指導に貢献した。  教 授： 15人以上(上位15%) 准教授： 10人以上(上位20%) 講 師： 8人以上(上位15%) 助 教： 6人以上(上位5%)	(機械判定) ・学科等の標準的な学士、修士、博士前期・後期課程の学生を担当し、学位授与及び諸資格取得に導くなど、学生指導を行った。  教 授： 14人～1人 准教授： 9人～1人 講 師： 7人～1人 助 教： 5人～1人	(機械判定) ・特別な事情なく、学生指導を担当しなかった(もしくは十分な指導をしなかった)	・担任又は指導教員として指導した学生が表彰されるなど優れた活動を行った。 ・課外活動支援、準正課活動支援において顕著な成果を得た。 ・研究生や委託生を担当し、学位授与及び諸資格取得に導くなど学生指導を行った。 ・多数の博士後期課程の学生の主指導教員を担当し、学位授与に導いた。 【評価指標・資料】 ・学生支援の取組み(担任、iOP支援、部活・サークル顧問など) ・研究生、委託生の指導 ・学生の受賞・表彰
	教育の改善	学部や学科の教育改善活動(FDミーティング等)の取組み 教育に関するマネジメント業務への取組み	(手動判定) ・教育プログラム単位での改善(学科FD等)に際し、他の教員の模範となるような役割を果たし、学修成果の把握やカリキュラムの点検・改善を通して、教育の質的向上を図った。	(手動判定) ・教育プログラム単位での改善(学科FD等)に際し、中心的な役割を果たし、学修成果の把握やカリキュラムの点検・改善を通して、教育の質的向上を図った。	(機械判定) ・教育プログラム単位での改善(学科FD等)に積極的に参画し、学修成果の把握やカリキュラムの点検・改善を通して、教育の質的向上を図った。  1件以上	(機械判定) ・大学、部局等が行うFD活動へ参加しなかった。	・教育の国際化への取組み(留学・語学研修等の運営と改善)について顕著な成果を得た。 【評価指標・資料】 教育の国際化・国際連携教育への取組み
研究	計画的な研究の推進	外部資金獲得状況 ・科研費 ・共同研究費 ・受託研究費 ・寄付金 等	(手動判定) ・研究代表者として、または研究分担者として理系なら科研費の基盤A、文系なら科研費の基盤Bクラス以上に相当する外部資金(外部資金の直接経費総額1000万円/年以上)を獲得した。	(手動判定) ・研究代表者として、または研究分担者として科研費の基盤B以上に相当する外部資金(外部資金の直接経費総額500万円/年以上)を獲得した。	(機械判定【OR】) ・研究代表者として科研費をはじめとする外部資金の獲得のため努力をした。 ・外部資金を用いて学外者との共同研究などを積極的に実施した。 ・分担者として外部資金を獲得して研究を実施した。  外部資金申請件数：1件以上	(機械判定) ・研究代表者として科研費をはじめとする外部資金獲得のための努力をしなかった。	・複数名で取り組む優れた研究計画を立案し、外部資金獲得のための優れた活動を行った。 【評価指標・資料】 共同研究・受託研究への参画数 学内研究プロジェクトへの参画数 知的財産権申請数技術移転・技術相談・企業交流活動への取組み 学術交流への取組み
	研究成果の発信	著書数 論文数 芸術・体育系活動 講演・口頭発表等	(手動判定) ・当該学術分野において特筆すべき研究成果の発信を行った。	(機械判定) ・当該学術分野において想定される標準的な量を上回る研究成果の発信を行った。  論文数6本以上(上位20%)	(機械判定) ・当該学術分野において想定される標準的な量の研究成果の発信を行った。 著書数+論文数+芸術・体育系活動+講演・口頭発表等の合計1本以上、かつ、論文数5本～0本	(機械判定) ・学術分野に応じた最低限の研究成果の発信を行わなかった。	・当該学術分野において特筆すべき研究成果を上げた(法人評価における学術的業績で「SS」相当+2、「S」相当+1)。 ・研究成果が、社会や文化の向上に大きく寄与したと評価された(法人評価における社会・文化で「SS」相当+2、「S」相当+1)。 【評価指標・資料】 受賞・表彰(本人の受賞・表彰のみを対象とする。)
社会貢献	社会貢献・地域連携	・学外教育への取組み(リカレント教育、公開講座、模擬授業など) ・社会貢献・行政機関等での兼業(他の大学等教育機関での非常勤講師を除く。) ・講演会・シンポジウムへの招待数及び取組み(学術的なものを除く) ・学外委員歴(学協会での役職を含む) ・学協会等での調査研究活動への参加数 ・その他社会活動(地域連携活動の取組み) ・職位毎に機械判定のための評価区分を定める。	(手動判定) ・自らの研究活動等に基づく専門的な知見等を生かし、大学の評判(レピュテーション)向上にもつながる、極めて意義の高い社会的活動や学協会の活動を行った。	(手動判定) ・自らの研究活動等に基づく専門的な知見等を生かし、大学の評判(レピュテーション)向上にもつながる、意義の高い社会的活動や学協会の活動を行った。	(機械判定【OR】) ・自らの研究活動等に基づく専門的な知見等を活かし、社会的活動や学協会の活動を行った。 ・学外教育活動(リカレント・模擬授業等)の担当可能者として登録し、要請に応じて実施した。  教 授： 1件以上 准教授： 1件以上 講 師： 1件以上 助 教： 1件以上	(機械判定) ・特別な事情なく、学外教育活動(リカレント・模擬授業等)の担当可能者として登録しなかった。	・国や地方の重要な委員会の委員長、基幹的な学会の長などを務めた。 ・講師・助教においては、専門分野に関わる学協会の委員・幹事、国際会議運営委員、学外委員などを務め、多大な貢献をした。 【評価指標・資料】 社会貢献・行政機関等での兼業 学協会での役職
大学運営	大学運営への参画	・全学的委員会の業務 ・部局の委員会の業務 ・職位毎に機械判定のための評価区分を定める。	(手動判定) ・標準的な担当数を上回り割り当てられた校務を引き受け従事し、他の教員の模範となる活躍をした。 ・講師・助教においては、標準的な担当数を大幅に上回る校務に従事し、大学運営に多大な貢献をした。	(機械判定) ・標準的な担当数を上回り割り当てられた校務を引き受け従事し、責務を果たした。  教 授： 8件以上(上位5%) 准教授： 4件以上(上位10%) 講 師： 4件以上(該当なし・目標値) 助 教： 4件以上(上位13%)	(機械判定) ・割り当てられた校務を引き受け従事し、責務を果たした。  教 授： 7件～1件 准教授： 3件～1件 講 師： 3件～1件 助 教： 3件～1件	(機械判定) ・特別な事情なく、割り当てられた校務を引き受けなかった(もしくは、責務を果たさなかった)。	・全学の開催頻度の高い重要委員会の委員や、学部等で負荷の高い委員会での委員長などの責務を着実に果たし、大学運営に多大な貢献があり、他の教員の模範となる活躍をした。(学部改組など) ・講師・助教においては、全学・部局の開催頻度の高い重要な委員会、WG、TF等の委員を務め、その責務を果たし、大学運営に多大な貢献をした。 【評価指標・資料】 全学的委員会の業務 部局の委員会の業務 その他の校務 (全学的委員は学部入学者選抜の出題・採点委員を含む。学部編入試・大学院入試の出題・採点委員は自由記述欄に記入願います。)